

5
2010

皋 月

西海市 **社協だより** すくらむ

オヤジ指導で そば打ち交流



大瀬戸デイサービスセンター

(関連記事 5 ページ)

平成22年度 社協の方向性

安心して暮らせる 福祉のまちづくりのため

理事会・評議員会で平成22年度西海市社協の基本方針を協議し、事業計画と予算が決定しました。

今年度の 重点事項

社協は、福祉のまちづくりを実現するため、地域のあらゆる団体・組織と協働しながら、平成22年度は次の事項を重点に活動します。

1 昨年度に開いた「井戸ばた・かいぎ」で出された意見を集約し、地域福祉を推進するための指針や長期的な目標を明らかにする「地域福祉活動計画」の策定を行います。

2 全市的に高齢者や障がいのある人などのニーズに対応した配食サービス事業を行い、安心して在宅生活が続けら

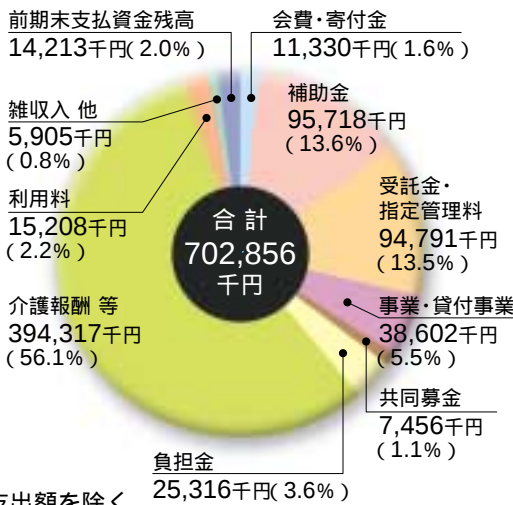
新年度予算 約7億285万円

平成22年度の予算は前年度当初予算に比べおよそ530万円増額の約7億285万円でスタート。

収入では、補助金が13%、配食サービス事業や通所型介護予防事業など市からの受託金と横瀬保育所・高齢者生活支援ハウスなどの

指定管理料が13%、介護保険事業などの報酬が56%を占めています。支出では、人件費が78%、事業費が17%と、福祉サービスを提供している職員の人件費が大部分を占めています。

収入



用語の説明

会費・寄付金	社協会費、香典返し、一般寄付
補助金	西海市、県社協からの補助金
受託金・指定管理料	8つの受託事業、13の指定管理事業の運営費
事業・貸付事業	配食事業等の事業収入、貸付償還金
共同募金	赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金
負担金	西海市への出向職員6人分の人件費
利用料	サービス利用者からの利用料
前期末支払資金残高	前年度からの繰越金

こんな福祉活動も

- チャイルドシート等貸与事業
- 常設・夏期学童保育事業
- 福祉資金貸付事業
- ふれあい食事サービスなどの高齢者交流会の実施
- 共同募金を原資に地域に還元する「地域配分金事業」
- 福祉体験、介護教室などの出前福祉講座
- ボランティア協力校助成事業などボランティア活動の推進

瀬戸地区ふれあい食事サービスで楽しむお年寄り、民生児童委員、ボランティア



れるように支援します。

3 平成23年度に西海市で開かれる「地域福祉実践研究九州セミナー」に向けて作業チームを組織し、準備に取り組みます。

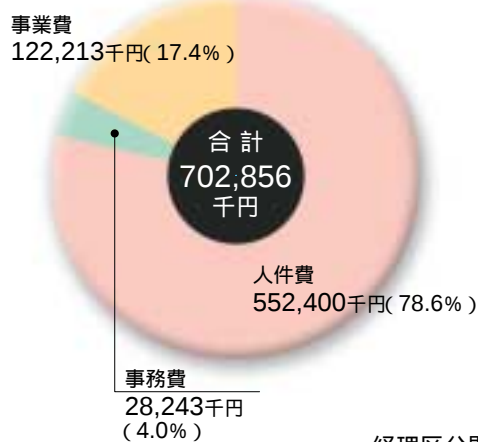
4 行政区长や民生児童委員と連携し、地域に根ざした福祉推進員の活動を支援します。

5 事業提携している長崎国際大学や西海市観光協会と、地域(まち)づくりのため、協働で事業を展開します。

6 福祉団体や福祉施設と連携し、障がい者ビーチスポーツ大会など障がいのある人の社会参加を支援します。

7 65歳以上の高齢者の割合が50%を超える限界集落や、ひきこもりの方への支援など新たな福祉サービスの開発を行います。

支出



用語の説明

人件費	職員約230人分の人件費
事務費	事務に係る経費 (例: 通信費、事務用品等)
事業費	事業に直接係る経費 (例: 車両維持費、配食材料費等)

3千件の市民の声 策定委員会で協議

平成22年度中に社協が策定する「地域福祉活動計画」は、市民をはじめ行政、社協などが話し合い、地域の福祉課題やニーズを解決する仕組みを実行するためのものです。

昨年度、市内17小学校区で開いた「井戸ばた・かいぎ」で寄せられた3千件近いご意見をもとに、現在、各町、市民の代表で構成された策定委員会で協議しています。

今後、市民の声を活かした実践プログラムに対するご意見をつかがう住民懇談会を予定しています。

市民のご意見を聞いた「井戸ばた・かいぎ」(西海西小学校区)



不足の1千4百万円 前年度繰越から

今年度も1千4百万円ほどの赤字予算が避けられず、前年度の繰越金をこれにあてて緊縮した予算となっています。

限られた予算を効率的に活用し、市民の皆さんの期待に応え、福祉の風土づくりのために地域福祉の推進に励みます。

- 入院中や施設入所中の人の一時外泊などの支援
- 介護保険事業や障害者自立支援法に基づく事業
- 大島児童館や横瀬保育所など13の指定管理事業の健全な運営
- 通所型介護予防事業などの8つの受託事業
- レンタカー事業の推進など

- 判断能力が不十分な認知症高齢者や知的障がいのある人などの金銭管理や福祉サービス利用の援助
- 大島児童館で親子交流の場を提供するなど地域の子育てを支援



大島東小学校での福祉体験

社協に 期待すること

市民の声



平成22年度の事業が始まりました。
市民の皆さんはどんなことを社協に期待し、
西海市の福祉についてどう思っているのでしょうか。
市民の声をうかがいました。

こんな西海市に
なったらいいなあ...



● 大瀬戸町榎浦 ●
中村 洋さん

平 成17年3月から約5年、自分の勉強と認知症予防のためと思い、大瀬戸町の老人クラブや高齢者大学の事務局を引き受けました。今日まで続けられたのは、社協の担当職員をはじめ、多くの方の助言と協力のお陰。

時代の波に翻弄されながら傘寿(80歳)を迎え、出会いを大事にしています。大瀬戸町でも夫婦二人暮らしが増えており、働く場がもっとあれば、若い人が増えていい町になると思います。



● 大島町中央 ●
緒方 美さん・平二くん・康之介くん

引 つ越してきて1年が経ちましたが、いろんな人が声をかけてくれます。大島は人がとてもやさしく、子育てがしやすい環境です。

毎日のように児童館に来ていますが、引っ込み思案だった長男が徐々に挨拶ができるようになり、成長してきました。

これからも子育てがしやすい環境になるよう力を入れてほしいです。



● 西彼町大串 ●
坂口 瑞季さん

夏 休みに学童保育や特別養護老人ホームにボランティアに行くために、社協に相談しました。その他に社協ってどういうことをするのかよくわかりません。内容を若い人にもわかりやすく知らせしてほしいです。

子どもからお年寄りまで明るく元気に交流ができ、みんな仲の良い西海市になったらいいと思います。



● 崎戸町江島浜 ●
御厨 晃さん

江 島がこの先どうなるか不安です。年をとっても、いつまでも、江島に住み続けられるように、協力してほしいです。

社協には時代にあった活動や事業をお願いします。



● 西海町横瀬 ●
太田 陽幸さん

身 障協の会員であり、民生児童委員でもある私にとって社協は身近な存在です。社協は生活のことで困った時の相談機関。地域の気になることなど気軽に相談ができ、市民の声を親身になって聞いて、信頼される社協になってほしいです。

子どもも大人も元気よく挨拶ができる西海市になってほしいと願っています。

「子の姿 鏡は親のあり方」

市福祉施設協総会で川原氏が講演

市内の福祉施設が相互に連携し、施設従事者の資質や利用者へのサービス向上を目指す「西海市福祉施設連絡協議会」の総会が4月5日、西海総合福祉センターで開かれました。

同会は保育所、高齢者、障がい者などの福祉施設が加入し、平成19年4月に発足。

総会には、29施設83人が出席し、平成21年度の事業・決算報告



安心できる家庭の大切さを語る川原さん

や22年度の事業計画などを審議しました。

総会後には長崎短期大学の川原ゆかり教授が「子どもと家庭」と題し講演。児童相談所勤務の経験を交えながら、現代の子どもの問題について解説しました。

親の「こんな子どもになつてほしい」という願いは、どいう親であるべきかというところ、鏡は親のあり方と指摘。

最後に「親は赤ちゃんの肌、幼児の手、子どもの目、少年少女の心を離さないで」と呼び掛けました。

手際よくめん棒でのばす利用者



打ち立てのそばの味

4月17日、大瀬戸デイサービスセンターで利用者23人がそば打ち体験で交流を深めました。

この日は、自立した男を目指して活動している「おおせとオヤジ夜究教室」（杉本兼幸会長）のメンバー10人がそば作りを手ほど

き。エプロン姿の利用者は小麦粉とメンバーが栽培したそば粉を2対8の割合でこね、薄く延ばして細く切り、早速、打ち立てのそばを味わいました。

利用者の岩松キトさん（89）は「昔のそば打ちを思い出します。こね方がよかあそばいで、おいしか」と笑顔で話していました。

お年寄り笑顔

西海町に グループホーム開設

知的障がいの
ある人の自立へ

知的障害者通所授産施設「互隣の家」（平野直幸理事長）は4月1日、知的障がいのある人が共同生活する



談話する利用者



のぐち1号・のぐち2号（手前）

「グループホーム・ケアホームのぐち1号及びのぐち2号」の2棟の住居を西海町中浦南郷に開設しました。

日常の相談や生活援助を受け、地域で共同生活しながら知的障がいのある人の自立を目指しています。

建物は木造1階建て、定員8人の2棟で、個室の他に食堂や浴室、洗濯室などを設置。

世話人が食事や生活上の困りごとを24時間体制で支援し、親亡き後も地域で自立した生活が送れるような場を提供していきます。

空き缶回収でスカットボール寄贈



西彼農業高等学校では、生徒と保護者がペットボトルや空き缶などを収集するリサイクル活動に汗を流しています。集めた資源を換金し、地域に必要な物を贈ろうと平成16年から活動を開始。

3月24日、同校で贈呈式が行われ、レクリエーションのためのスカットボール一式が社協に寄贈されました。生徒代表が「ちよつとした心配りで地域に貢献で



贈呈式で目録を手渡す生徒代表の佐保翔平さん（右）

きる。今後も協力していきたい」と挨拶。
平成18年度には子どもたちへの読み聞かせのための

絵本や紙芝居、平成19年度にはベビーシート9台が寄贈され、多くの市民に喜ばれています。

お年寄り 交流会で一喜一憂



スカットボールを楽しむ参加者

早速、ひとり暮らし高齢者等の安否確認ボランティア（大瀬戸）と利用者との交流会で楽しみました。スカットボールは年齢を問わず気軽に楽しめる競技で、スティックで球を打ち、穴の空いたスカット台に入った得点を競います。

参加者は、初めて体験する競技に一喜一憂しながら球を打ち込みました。なかには「とても面白かった。これが家にあつたらいいな」と話す参加者も。スカットボール一式はデイサービスセンターで利用したり、地域の方にも貸し出します。

「身近な相談役に」 市民児協会長に浦本氏



浦本文雄 会長

地区民児協会長（敬称略）

町名	氏名
西彼	山口 叙枝 のぶ
西海	荒瀬 淳子 あつ
大島	玉崎 隆司
崎戸	浦 詰 則彦

地域のひとり暮らしの高齢者などを訪問したり、福祉情報を発信している民生児童委員。4月から西

海市民生委員児童委員協議会連合会の会長に、大瀬戸町の浦本文雄氏が就任しました。浦本会長は「前任の会長の職を受け継ぎ、今後も地域の人が安心して暮らせるよう身近な相談役になつていきたい」と抱負を話してくれました。その他の地区民児協会長は表のとおりです。

有料広告 お気軽にご相談ください

- 債務整理（借金の整理）
 - ・返済がきつい、取立てがきつい、生活費もままならないなど
 - ➡解決策はあります。あきらめずにご相談ください。（相談無料）

年金を担保に借入れをしていませんか？

年金を担保にした貸付けは一部の独立行政法人や公庫（取扱店である銀行等）にしか認められていません。一般業者が年金を担保に貸付けることは違法です。大事な生活の糧を守りましょう。

ヤミ金等対応します。遠慮なくご相談ください。

- 訴訟 訴状が届いたら放置せず必ずご相談ください。
 - 訪問販売などの契約に関すること
 - 相続・不動産・成年後見に関すること
- 交通手段を持たない方、出張致します。（費用不要）**

みなと司法書士法人西海事務所 司法書士 中山雄一

西海市大瀬戸町瀬戸板浦郷1133 秘密は固く守られます。

電話 0959 - 37 - 0780

高齢者の力を地域に

西海市老人クラブ連合会

老人クラブは「健康・友愛・奉仕」を三大活動にかかげ、高齢者の元気づくりや地域の環境美化、伝承活動など地域社会を支える大きな役割を果たしています。



小学生への伝承活動

生きがいの場
地域貢献も

老人クラブは、おおむね60歳以上の人で構成され、地域を基盤にした高齢者の自主的な活動組織です。社会貢献や生涯学習活動を通じて、仲間づくりや健康づくりに励んでいます。

無理なく楽しく地域に貢献することで、生活にリズムをつけ、生きがいを見つけることができます。

クラブ数と会員
減少傾向

西海市の高齢化率は増加傾向にあります。老人クラブのクラブ数と会員は減

主な活動内容

生活を豊かにする 楽しい活動

- ・交通安全などの学習講座やリーダー研修など
- ・グラウンドゴルフやゲートボールなどの健康づくり
- ・舞踊などの趣味、文化活動

地域を豊かにする 社会活動

- ・花いっぱい運動や社会奉仕活動
- ・施設やひとり暮らし高齢者などの友愛訪問
- ・地域の文化や郷土史などの伝承活動や世代間交流
- ・生活調査、関係機関への提案など

役割期待
地域の担い手に

高齢者は地域の重要な担い手として活躍が期待されています。

今後、幅広い活動を展開していくためにも新規会員の加入が不可欠です。ぜひ地域の老人クラブに加入し、交流の輪を広げてください。

会員募集

単位老人クラブ（合計89）

西彼町19、西海町27、大島町15
崎戸町8、大瀬戸町20



緊急時の対応の研修

あなたの入会をお待ちしています。

入会希望者は各支部までお申し込みください。
(敬称略)

支部	支部長名	連絡先
西彼町支部	樋口 岩 夫	27 - 1519
西海町支部	瀬石 幸 男	32 - 1188
大島町支部	南部 雄 洋	34 - 2124
崎戸町支部	黒崎 治 義	35 - 2581
大瀬戸町支部	中村 洋	22 - 0139

お問い合わせ先

西海市老人クラブ連合会 事務局

西海市西海町黒口郷1477番地1
電話 29 - 4111 (担当: 吉田)

郵送で図書貸し出し 身体障がい者に

郵送料
無料

障害者ふれあいブックメールサービス

身体的な障がい等で図書館の利用が困難な人にも気軽に本を楽しんでもらおうと、長崎県立長崎図書館では郵送による図書の貸し出しを行っています。本の郵送料は図書館が往復負担します。

対象者

県内在住の身体障害者手帳をお持ちの方で、その程度が下記の方。

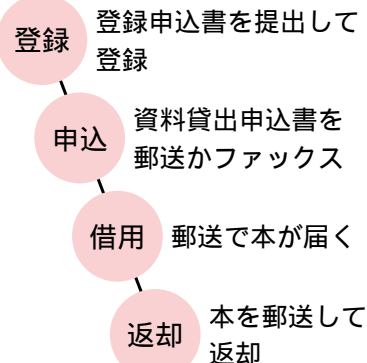
区 分	身体障害者手帳
両下肢、体幹、移動機能の障害、視覚障害	1級もしくは2級
心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害	1級から3級

申し込み・お問い合わせ先

長崎県立長崎図書館 奉仕課
長崎市立山1丁目1-51 電話 095-826-5257
登録申込書は西海市社協にもあります。



22日間以内、50冊
まで借りられます。



相談することが解決の近道

弁護士による無料法律相談

相談無料
要予約

借金、消費者問題、離婚、遺言など生活上のことで悩んでいませんか。社協では、弁護士による無料法律相談を実施します。相談は無料ですが事前予約が必要です。

* 借金を
何とか
したい...

* 離婚後の
親権、養育費、
慰謝料は？

* 遺言に納得
がいかない、
遺産分割で
もめている

平成22年

7月5日(月)	13時～16時	西彼保健福祉センター
9月6日(月)		大島社会福祉センター
11月1日(月)		社協大瀬戸支所

予約は先着順で定員になり次第、締め切ります。

予約・お問い合わせ先：西海市社協 電話 29-4081

歩道を歩く黄色、黄色、
「交通安全」と書かれたラ
ンドセルカバーと帽子。
4月になって、真新しい
ランドセルが少し大きく見
える1年生の姿が目につ
きます。手を上げて信号を
渡ったり、疲れて道の途中
で休んだり。そんな光景に
出会うと、つい笑顔になっ
てしまいます。

5月5日のこどもの日か
ら1週間は「児童福祉週間」。
将来を担う大事な宝とし
て、子どもたちの成長を見
守っていきましょう。(H)



ご寄付・お礼

3/16、4/15受付分

社会福祉事業資金として
次の方々から善意や香典返
しの一部を寄付いただきま
した。地域福祉活動などに
大切に活用させていただきます。皆様のご厚情に心か
ら感謝申し上げます。

西海町
宮口美佐男様
(故 律子様)

大瀬戸町
竹下セキ子様
(故 卯市様)

大瀬戸町

崎戸町

原田賢郎様 故 信子様

匿名希望

山崎敏弘様 故 光男様

匿名希望

大島町

宮崎アツ子様
(故 水野シツ様)

西川富郎様

(故 松尾淑子様)

山口シキ様 故 金一様

橋本正幸様 故 松夫様

中場義則様 故 イサ様

一般寄付

匿名希望

崎戸町

西村啓輔様

匿名希望